

公募説明会

「AI技術関連研究開発成果の社会実装 までの課題整理と課題解決手法の検討 調査」に係る公募について

2023年8月3日(木) 11:00 - 12:00

◆ 公募内容の説明 (※)

- 調査内容
- 調査期間 及び 規模
- 応募資格
- 提案書類の提出について
- 委託先の選定
- スケジュール
- 留意事項

◆ 質疑応答

(※) 本資料の説明は公募関連書類の内容を要約したものです。応募に当たっては必ず公募関連書類を熟読し、参照してください。公募関連書類はNEDOホームページからダウンロードできます。

https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100347.html

- 公募要領 (PDF)
- 仕様書 (PDF)
- 提案書様式 (WORD)
- 契約に係る情報の公表について (PDF)
- 情報管理体制確認票 (EXCEL)

公募内容の説明

我が国では生産性向上や技能伝承等の観点からAI技術の導入促進を掲げているが、例えば資金や人材の余裕が少ない中小企業ではAI技術の導入を阻むいくつもの課題が残っているなど、AI技術の導入が進んでいない。



NEDOの報告書、経産省調査などでもAI技術の導入・社会実装が進んでいないとレポートされている。

AI技術の社会実装に関して顕在化している課題のひとつ。

本調査では、AI技術の導入、社会実装の一層の促進を目的として

- AI技術を導入すべき企業やAI技術を導入したいと考えている企業をターゲットとして設定
- NEDOの研究開発事業の成果を題材
- 業界の分野ごとに、ターゲットに対する効果的な情報発信の仕方や内容を調査
- この目的を達成するためのNEDOが実施すべき継続性のあるアプローチ方法を検討し、AI技術に係るNEDO事業成果の発信指針としてまとめる
- NEDOに求められる機能や期待される役割等の提言を行う

1) 調査概要

本調査の実施にあたっては、ターゲット層に合致する企業、NEDOプロジェクトの実施者、プロジェクトを推進するNEDO担当者等へのヒアリングまたは意見交換を通じて実態把握を行うものとする。また、本発信指針の有効性検証のため、実際にパンフレット等の広報物を作成し配付するなど、調査事業期間内に試行的に広報活動を実施する。

調査内容（調査方法等について）

2) 調査方法等

各種関連資料等の収集・分析や、有識者・メーカ・ユーザ、NEDO関係者へのヒアリングにより必要な情報収集を行う。NEDOは、可能な限り有識者等ヒアリングに参加する。上記目的達成に向け、情報を補完する調査項目を追加することは妨げない。その他、NEDOから要請があった場合は、協議のうえ、可能な限り反映すること。

以上の実施内容について、NEDO担当者に対し対面またはオンライン会議等によりひと月に1回程度の進捗報告を行うこと。

調査内容（調査項目①について）

（仕様書：P. 1,2）



① AI技術を普及するために課題となる要因を調査

- ・ AI技術の普及を進めるうえで課題となっている要因について調査を実施する。調査にあたっては、提案者による情報収集やヒアリングのほか、NEDOプロジェクトの関係者等との議論を踏まえて要因を整理すること。

① AI技術を普及するために課題となる要因を調査

- ・ ロボット・AI部でのAI関連プロジェクトにおける研究成果内容を取りまとめ、情報発信可能な内容について情報収集を行う。AI関連プロジェクトとは、**少なくとも下記の4つのプロジェクトを含むこと。**

- － 次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発
- － 人工知能技術適用によるスマート社会の実現
- － 人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業
- － 人工知能活用による革新的リモート技術開発

調査内容（調査項目① について）



【ご参考】 NEDO HPにあるプロジェクトの刊行物、成果報告書等

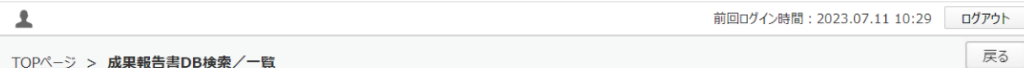
ホーム > 刊行物・資料 > 刊行物 > パンフレット
> ロボット・AI一覧

TOPページ > 成果報告書DB検索／一覧
(ユーザー登録が必要)



ホーム > 刊行物・資料 > 刊行物 > パンフレット > ロボット・AI一覧

ロボット・AI一覧



検索条件

キーワード検索は、成果報告書の全文検索を行います。

キーワード、タイトル等で複数の条件を指定して検索する場合は、and検索となります。

タイトル検索で所望の報告書がヒットしない場合は、検索文字列が間違っている可能性があります。検索キーワードを単語、文節にスペースで区切った上で、検索してみてください。

検索対象	<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 成果報告書 <input type="radio"/> 中間年報
キーワード	<input type="text"/> <input type="radio"/> すべてを含む <input type="radio"/> いずれかを含む
タイトル	<input type="text"/> <input type="radio"/> すべてを含む <input type="radio"/> いずれかを含む
公開日	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
委託先	<input type="text"/> (部分一致)
契約管理番号	<input type="text"/>
報告書年度	<input type="text"/> 年度 ~ <input type="text"/> 年度
報告書管理番号	<input type="text"/>
プロジェクト番号	<input type="text"/>

調査内容（調査項目① について）



【ご参考】 NEDO HPにある報告書（技術戦略研究センター関連）

ホーム > 刊行物・資料 > データベースなど > 報告書 > 『TSC Foresight』 TSC 技術戦略策定分野
> デジタルイノベーション分野

The screenshot shows the NEDO website interface. At the top, there is the NEDO logo and name in Japanese: 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構. To the right, there are links for '採用情報', 'お問い合わせ窓口', 'アクセス', and social media icons for YouTube, Twitter, and Facebook, along with an 'English' language selector. Below this is a navigation menu with items like 'NEDOについて', 'ニュース', 'イベント', '実施者募集(公募)', '事業紹介', '刊行物・資料', and '調達'. A search bar with a magnifying glass icon and the text '検索' is on the right. The main content area is titled 'デジタルイノベーション分野' (Digital Innovation Field) and lists various reports with their titles and sizes. The reports listed are:

- Vol.112 バイオものづくり実装分野 (2023年5月31日) (3.2MB)
- Vol.7 ロボット分野 (2.0領域) (3.3MB)
- Vol.8 人工知能分野 (2.1MB)
- Vol.9 コンピューティング/物性・電子デバイス分野 (2.0MB)
- Vol.10 パワーレーザー分野 (1.6MB)
- Vol.17 無人航空機 (UAV) システム分野 (1.8MB)
- Vol.18 IoTソフトウェア分野 (2.4MB)
- Vol.24 人工知能×食品分野 (1.8MB)
- Vol.29 人工知能×ロボット分野 (4.1MB) セミナー発表資料 (2018年10月31日)
- Vol.30 人工知能を支えるハードウェア分野 (3.5MB) セミナー発表資料 (2018年10月31日)
- Vol.34 AIを活用したシステムデザイン (AASD) 技術分野 (1.6MB) セミナー発表資料 (2019年7月12日)
- Vol.38 人工知能 (意味理解) 分野 (2020年12月1日) (4.3MB)
- Vol.39 自律分散システム分野 (2021年2月5日) (2.4MB)
- Vol.40 人間情報応用分野 (2021年2月25日) (3.2MB)
- Vol.103 パワーエレクトロニクス分野 (2021年11月9日) (1.1MB)
- Vol.104 スマートテレオートノミー分野 (2021年2月10日) (2.9MB)
- Vol.114 人工知能分野 (社会実装推進のために) (2023年7月21日) (1.5MB)

At the bottom of the list, there is a section for 'ナノテクノロジー・材料分野' (Nanotechnology・Materials Field).

① AI技術を普及するために課題となる要因を調査

- ・プロジェクトを構成する複数のテーマの中から情報発信すべき対象テーマを選定し、業界の分野ごとに、情報提供を受ける側の視点に立ち、提供すべき内容を設定する。テーマの選定にあたっては、AI技術の普及を進めるうえでの課題となっている要因について整理した結果を踏まえて行うこと。なお、情報提供先は、少なくとも中小企業を含むものとする。

② ①で調査した課題を踏まえたアプローチ方法の検討

- ・ 研究開発成果が効果的に利活用されるよう、情報源から得られた情報・成果を発信する手段、公報媒体に関する情報を収集し、効果的な方法として情報を整理・分析し、取りまとめること。
- ・ 公報媒体として少なくとも展示会等で配付可能なパンフレット（印刷物）やWebで公開可能な電子データを含めること。
- ・ 分析にあたっては、客観性を担保すべく評価軸を適正に設定する等評価指針を策定したうえで行うこと。
- ・ また、整理・取りまとめにあっては、NEDO担当者との協議すること。

調査内容（調査項目③ について）

（仕様書：P. 2）



③ 情報発信

- ・ ②までに取りまとめた内容を踏まえ、実際に情報発信を行う。
- ・ 情報発信先に際しては、少なくともNEDOのHPへの掲載、NEDOが関連した展示会を含むこと。

④ アプローチの効果測定

- ・ ③までに取りまとめた情報発信ターゲット、発信内容、公報媒体などアプローチの効果測定し、AI研究成果の社会実装促進の観点で提言をまとめること。あわせて、NEDOがAI技術を普及するための課題解決に貢献するうえで求められる機能や期待される役割等の提言を行うこと。

業務期間、予算金額

(仕様書 : P. 2)



業務期間

NEDOが指定する日から2024年3月31日まで

予算金額

2,000万円以内

最終報告書

- 1) 3. 2) ②については、印刷物（A4サイズ、両面フルカラー印刷）及び電子データ（原稿ファイル、PDFファイル（高解像度版、Web公開版）、印刷用のPDFファイル、及び元データとなる イラストレーター等のデータファイル）を納品すること。なお、印刷部数については別途 NEDOと協議のうえ、決定すること。
- 2) 電子データについては、目次や索引から各ページへ遷移できるハイパーリンクの付与等、電子データならではの利用者向けの利便性を高める工夫を盛り込むこと。

次のa.からd.までの全ての条件を満たすことのできる、単独ないし複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 当該技術又は関連技術についての調査／事業実績を有し、かつ、調査／事業目標の達成及び調査／事業計画の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- c. N E D Oが調査／事業を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。
- d. 支援施策の検討およびその有効性検証について、事業計画の遂行に必要な組織、人員等の体制を有していること。

提案期限 及び 提出先

(1) 提出期限

2023年8月23日（水）正午アップロード完了

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、N E D Oウェブサイトでお知らせいたします。

なお、N E D O公式Twitterをフォローいただくと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせをTwitterで確認できます。是非、フォローいただき、御活用ください。

<https://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

(2) 提出先

Web入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/wn3uh4ewilg3>

- a. 「4. (2) 提出先」のWeb入力フォームで以下の①～⑬を入力いただき、⑭に提出資料をアップロードしてください。アップロードするファイルを提出書類毎に作成し、**全てPDF形式で、一つのzipファイルにまとめてください**。なお、アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けないでください。

提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。再提出の場合は、再度、全資料を再提出してください。

提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

- b. 次の公募関連書類がダウンロードできますので、御参照ください。
- 仕様書（PDF）
 - 提案書類（WORD）
 - 調査委託契約標準契約書（PDF）

公募要領 P.5記載の**提出にあたっての留意事項**を遵守ください。

- 提案書
- 会社経歴書（又はこれに準ずるもの）
※ N E D O と過去 1 年以内に契約がある場合を除く
- 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）
- N E D O 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応するエビデンス（別紙2）

6.（1）審査

以下の審査基準に基づき提案書類を審査します。なお、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられませんのであらかじめ御了承ください。

6.（2）審査基準

- a. 調査の目標がN E D Oの意図と合致していること。
- b. 調査の方法、内容等が優れていること。
- c. 調査の経済性が優れていること。
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- e. 当該調査を行う体制が整っていること。
- f. 経営基盤が確立していること。
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- h. 委託業務管理上N E D Oの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

6. （2）審査基準（続き）

ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第24条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては加点評価されることとなります。）

6. （3）委託先の公表及び通知

採択結果の公表等

採択した案件（実施者名、事業概要）はN E D Oのウェブサイト等で公開します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

2023年

7月 31日

公募開始

8月 3日

公募説明会（本日）

8月 23日（正午必着）

公募締切

9月 初旬（予定）

採択審査（※）

9月 中旬（予定）

採択決定、結果公表

9月 下旬（予定）

契約締結

（※）委託先選定に係る審査は、受理した提案書類、添付資料等に基づいて行いますが、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります。

7. 留意事項

- (1) 契約及び委託業務の事務処理等について
- (2) 国立研究開発法人から民間企業への再委託
- (3) ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
- (4) N E D O 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応するエビデンス
- (5) 公的研究費の不正な使用及び不正な受給への対応
- (6) 研究活動の不正行為への対応
- (7) RA (リサーチアシスタント) 等の雇用
- (8) 国立研究開発法人の契約に係る情報の公表
- (9) 安全保障貿易管理について (海外への技術漏洩への対処)

8. 問い合わせ

本公募に関するお問い合わせは、
以下の問い合わせ先までE-mailでお願いします。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
ロボット・AI部 工藤、安食（あじき）

E-mail : ai_social_implementation@nedo.go.jp

質疑応答(全体を通じて)

Teams機能で“手を上げる”を使い、指名を受けたのちに質問をお願いいたします。

後日、本日の質疑応答をまとめた“Q&A集”を資料として追加いたします。